



2014~2015

KAWANOE WEEKLY

H. 26. 8. 26

No. 9



プラハにて 油彩 谷 晶子



ロータリーに輝きを

2014-2015年度国際ロータリー会長
ゲイリー C.K. ホアン

- 会 長 佐々木 敬 史
- 幹 事 宮 内 哲 也
- 会報委員長 三 木 秀 二
- 例 会 日 毎週火曜日
12:10~13:10
- 例 会 場 四国中央商工会議所
電 話 58-3530
FAX 58-6294
- 事 務 局 四国中央商工会議所
電 話 58-3530

再び『(幻)の宇和島クラブ物語』について =戦前日本ロータリー史の一断面=

情報委員 高 島 重 章

* 何故(幻)なのか

「幻」これは、全四国のロータリークラブの中で戦前第6番目に早く誕生した宇和島クラブが、果たして正式に設立されたといえるのかどうかと言うことが論議される時に何時も出てくる「形容詞」で、「何を今更」と思われるかもしれないが、実はそこには「歴史のいたずら」とでもしか言いようのない時系列的問題が含まれているのである。つまり問題の背後には戦前の日本ロータリー揺籃期の歴史即ち、わが国ロータリークラブ第一号である東京ロータリーの設立(1920年・大正9年)に端を発し、大阪、神戸、京都と次々と拡大して行った日本ロータリーの歴史がある。そして是に呼応するように四国に於いても、今治(昭和9年)、徳島・松山・高松・高知(以上いずれも昭和12年)の順に各クラブの設立が相次ぎ、宇和島クラブは四国第6番目のクラ

みどりと自然を大切に

ブとして昭和15年に設立されたのである。

然しながら、当時我が国の時代的潮流は、軍国主義への道をまっしぐらに突き進み始めた時であり、軍閥のロータリーに対する弾圧は日増しにその激しさを増し、昭和15年に入るや、全国各地でクラブの解散が相次ぎ、遂に昭和15年9月11日、日本ロータリーの創立者・米山梅吉氏が東京クラブに於いて「天下の状勢我に利あらず。今はしばし時期の至るを待つしかなし」との判断の下、血涙下る最後のスピーチをされた後、日本ロータリーのR Iからの脱退となり、戦前の我が国ロータリーの幕は降ろされたのであった。

宇和島クラブは、将にこうした激動期(東京クラブ解散より僅か三ヶ月前)に設立され、しかも設立後僅か二ヶ月で自ら解散決議をしており、この事情に対して後世「幻」と言う「形容詞」が宇和島クラブに附せられる由縁となったのである。

* 宇和島クラブに関する資料の数々

さて、今私の手許に宇和島クラブに関する以下四つの貴重な資料がある。これ等はいずれも、かつて私が郷里宇和島の家で倉庫の整理をしていた時、亡祖父高島亀太郎が残した古びた書類束の中から偶々見つけ出したものである。

- 1) 宇和島ロータリー倶楽部定款並びに細則
(昭和15年6月21日付)
- 2) 宇和島ロータリークラブ会員名簿
(昭和24年6月現在)
- 3) 例会開催通知はがき
(昭和24年4月8日消印)
- 4) 宇和島クラブ認証状(写し)
(昭和15年7月26日付)

以上1)－3)は何れもざら紙にガリ版印刷されたもので、紙面はすっかり黄変している。然し其のざらざらした紙の肌を通して、当時の物資不足の我が国の世情と戦前から戦中、戦後にかけてのロータリーが辿った苦難の道を窺がい知る事が出来、又同時にその苦難を乗り越えようとした当時のロータリアンの心意気の様なもの、ひたひたと伝わって来るの様に思われ、歴史の一断面に触れた思いで言いようの無い感動と興奮を覚えた次第である。(各資料については後述)

更に手許には宇和島ロータリークラブより贈呈された15周年記念誌(1980年発行のもの)があるが、それには

創 立 1940年(昭和15年)

再創立 1965年(昭和40年)

となっている。丁度今から 34 年前の 1980 年(昭和 55 年)は、国際ロータリー創立 75 周年であり、同時にこの年は宇和島クラブにとっても、創立 40 周年、再創立 15 周年に当る訳で、盛大な記念式典が挙行され、私もそれに参列した次第である。

* 昭和 15 年当時の世相

さて昭和 15 年頃といえば真珠湾攻撃の前年であり、我が国を取り巻く国際情勢は風雲急を告げ、軍国主義の大きな胎動と共に、不幸な太平洋戦争に突入する歴史の歯車が回り始めた時期である。その時日本にやっと根を下ろし始めたばかりのロータリー運動も、厳しい試練の時代を迎えようとしていた。

その為、一般論で言えば一地方都市に過ぎない宇和島に、国際性、平和主義を強調するロータリーを設立するなどと言う事はおよそ時流に逆行した極めて困難なことであったことは想像に難くない。では何故それが実現したのか。そこには宇和島にとって極めて大切な因縁を持つ一人の人物、南予の北宇和郡吉田町出身「芝 染太郎氏」の存在を忘れてはならない。

芝氏は、元ジャパントイムスの社長であり、東京ロータリークラブの会員であった。同氏は 1939 年(昭和 14 年)に米山梅吉氏と共に「日満ロータリー連合会」の結成に関わり、是を実現した上、米山氏をその会長に据え、自らは「専務幹事」となった大ロータリアンである。

「日満ロータリー連合会」の構想は、「奉仕の精神を説くロータリーも、大局的には大日本帝国の国策に沿うものである」と言う理念の下、日本、朝鮮、満洲を網羅したロータリーの大連合体を結成しようとする日本独自の構想の下に行なわれたものであった。だがこうした動きに対し R I は極めて消極的且つ慎重であり、時期尚早という名目で賛意を与えなかった。然し構想自体は R I の意向を無視して強引に実行に移されたため、この行動は戦後日本ロータリーの R I への早期復帰に当って大きな障害となったと言われている。

一方、こうした動きが一つの契機となり、芝氏は時々郷里宇和島に帰省する機会が増え、其の精力的な勧誘及び先輩の今治クラブ、松山クラブ等の尽力により、やっと昭和 15 年 6 月 21 日宇和島クラブは創立総会に漕ぎ着ける事が出来たのである。

因み創立総会における来賓の中には、

- ・大澤 徳太郎(第 71 区西部総監督{ガバナーの意?}
貴族院議員)
- ・芝 染太郎(日満ロータリー連合会専務幹事)
- ・松山 R C (8 名) 今治 R C (5 名)
- ・高島 亀太郎(宇和島市長)

等の名前が見える。(宇和島ロータリークラブ15周年記念誌)

さて、ここで今一度、何故宇和島クラブがこの様な厳しい時代に四国で第6番目のクラブとして誕生したのかを考えて見ると、其処には勿論、芝 染太郎氏と言う郷土出身の偉大な先覚者を得たこともあるには違いないが、同時に宇和島と言う土地柄が幕末から明治にかけて色々な革新的な人物が集まり、外国との交流もあり、当時としては極めて異色で、進歩的、国際的な城下町であった事と何か関係があるように思えてならない。

* 「幻」についての再考

以上の前置きをした上で、今一度形容詞「幻」の妥当性について考えてみたい。宇和島ロータリークラブの設立の歴史は、

- 1) 創立総会 昭和15年6月21日
- 2) RI認証 昭和15年7月26日
- 3) 解散決議 昭和15年8月18日

と言う経過を経て、創立総会後僅か二ヶ月足らずで解散すと言う劇的な運命を辿っている。そしてこの背景の中で「幻」が云々されるのは、上記2)と3)の間に、宇和島クラブへの認証状が果たして無事到達していたのかどうかと云う点が不明であり、又認証状伝達式が行われたという記録が全く無いということに原因している。即ちRI本部が宇和島クラブの申請を受理した上これを承認したと言う記録(認証番号5272号)は厳然として存在するものの、宇和島クラブとしてはこの認証状を受理した記録が無いままに(当時は航空便は無く、船便で送られたため、相当の時間を要する)解散決議を行ってしまったのであり、是では設立行為自体が法的に完結したとは言えないのではないかとする議論である。然も今となればこの到達、未到達を確認する術がないのである。

然しながら、仮に認証状が未到達であったとしても尚、ロータリークラブの設立要件をどの時点とするかと言う問題が残る。

即ちそれを

- 1) 創立総会の開催日とするのか
- 2) RIに申請がなされ、RIがこれを受領し認証した日とするのか
- 3) RIの認証状が申請者に到達した日(即ち加盟承認の意志が申請クラブに伝達された日)又は認証状伝達式の挙行日とするか

と言った点が議論の分かれる処である。

法律論的に言えば、一方的な意思の表示に過ぎない1)の立場を取るのはいさぐち無理があると思われるが、宇和島クラブの場合には、3)の立場を取るときにのみ「幻」

が問題となるのである。私はロータリーの目的或は其の本質に照らして考えた場合、更に当時の極めて異常な情勢、交通事情等を考慮した場合、3)よりも寧ろ2)の立場を取るべきであり、これを根拠に宇和島クラブは我が国に於ける**第37番目のクラブ**として戦前に立派に設立されたのだとすることが妥当と考える。其の方が当時厳しい環境の中で宇和島クラブの設立に懸命の努力をされた多くの先輩ロータリアンに対し、また宇和島クラブの名誉の為にも当然の礼儀ではないかと思うからである。

* 資料について

1) 宇和島ロータリー倶楽部定款並細則

昭和15年6月21日付(創立記念日)

1枚のざら紙に印刷されたこの資料は、基本的には現在の標準クラブ定款及び推奨クラブ細則と大差はないものの、現在のように細かい規程は無く、寧ろ当時の方が遙かに簡単明瞭である。例えば、各委員会についても「必要な場合に特殊の目的を遂行する為に理事会の決議を経て組織する事ができる」と定めているだけで、各委員会に就いては、其の名前すら何の規程もない状態である。

現在のように各クラブの規模や内情に関係なく、数多くの委員会を造ることが義務づけられ、やたら枝葉末節の部分が細かく規程されているものと比べて見ると、果たしてどちらの方が「ロータリーを全体として捉え、其の本質を考え、自己啓発を行なうための組織を運営する規範」としてより適切なのだろうかと考えさせられるものがある。

2) 宇和島ロータリークラブ会員名簿

昭和24年6月現在

同じくガリ版刷りの1枚のざら紙である。解散後の宇和島ロータリーが戦後再創立されたのは昭和40年6月20日であり、当然の事ながら、昭和24年の時点では其処にロータリークラブは存在しなかった筈である。それにも拘わらずこの会員名簿が実在し、その名簿にはチャーターメンバーを含む26名の方々が、其の職業分類と共に名前を連ねて居られる(其の中には、戦後、公職追放になり市長を辞した祖父の名前も木工業と言う職業を付して並んでいる)と言うことは、一体何を物語るのであろうか。

是はどう考えても、当時の先輩達が敗戦直後の混乱の中で、戦争によって形式的には消えてしまったロータリーの火を、何とか実質的に守り続けようと懸命の努力を続けられていたという何よりの証拠ではないかと思われる。又戦争中は「ロータリー」

と言う名を口にすることさえ憚られたため、「ときわ会」と言う名を付して「隠れキリシタン」のように細々と会を続けていたことを後になって祖父から直接聞いたことがある。

「宇和島だけでなく、全国各地で戦中、戦後の時期にこのようなことが行なわれていたという事実が、戦後日本のロータリーの国際ロータリー復帰に当り、非常に大きく貢献したといわれている」

3) 例会案内状

昭和 29 年 4 月 8 日消印の 1 枚の葉書
(再創立以前のもの)

「…………。さて色々の都合で例会を休みまして申し訳ありません。来る 10 日(金)に例会を致し度…………。追而本年分会費は、一応半年分五百円と致したく…………。」
非公式のロータリーであったがため、定例会も俚ならなかったことが偲ばれる。半年分の会費 500 円が当時としては高かったのか安かったのか興味のある処である。

4) 宇和島クラブ認証状(写)

昭和 15 年 7 月 26 日付創立時の認証状の写しである。宇和島クラブは戦前確かに認証を申請し、R I に於いて認証済みであることを証拠付けるために、戦後態々 R I まで出向いて行って事情を話し、写しを取得して来たと聞いている「曰く付」の認証状である。宇和島クラブのクラブ創立に懸ける意気込みが窺がえる。

* おわりに

私の郷里が偶々宇和島であるため、ひょんな事から上記の「日本ロータリー史」の一断面に接する機会を得、それを纏めてみたのが本稿です。内容或いは年代等に多少不正確な所があるとは思いますが、同じ愛媛県のロータリークラブの中にも、この様に稀有な経験を有するクラブもあるということを知って頂き、ロータリー理解のための一助にして頂ければ幸いです。

第2573回 例会記録 H. 26. 8. 19

出席報告

1. 出席会員 (57名中) 42名
2. 出席免除 2名
3. 来賓(卓話講師)
愛媛大学紙産業イノベーションセンター
内村 浩美 氏
4. 当日出席率 77. 78 %
5. 前々回補足修正率 96. 30 %
(メーカーシップ会員)
寺井 会員
(8/7 観音寺RC)
石村浩 会員
(8/8 伊予三島RC)

会長の時間

- ・ 8/12 (火) 開催 歴代会長会
『ガバナー輩出についての意見交換』報告
- ・ 8/19 (火) えひめ国体総会 出席報告

委員長の時間

- ・ 9/16 第1回情報委員会主催勉強会のご案内
情報委員長 石原 紘一 会員
- ・ 9/18 第5回ガバナー杯野球大会のご案内
野球同好会キャプテン 尾藤 淳一 会員
- ・ 10/7 職場訪問例会のご案内
(代理)宮内 哲也 幹事
- ・ 出席報告 高原 達也 会員

会務報告

1. 例会変更のご案内

新居浜南RC

9月9日(火) 観月夜間例会(ユアーズ)

*リーガホテル新居浜2Fクラブ事務局にて、メーカーシップ受付しております。

9月23日(火) 休会(秋分の日)

*メーカーシップの受付はありません。

2. 公益財団法人ロータリー米山記念奨学会 ハイライトよねやま173

3. 公益財団法人ボーイスカウト日本連盟 青少年育成のためのボーイスカウト運動 へのご支援のお願い

ー第23回世界スカウトジャンボリーの開催についてー

4. 2014年8月・9月 近隣クラブ例会の お知らせ(出席委員会)

方々の貴重なご意見を賜る事が出来ました。重要案件に対する会長の諮問機関としてお願い出来ればと考えています。

②本日、2017年開催の「愛顔(えがお)つなぐえひめ国体」準備委員会並びに実行委員会総会に委員として参加しました。軟式野球は、浜公園川の江野球場でも開催されるとの事です。

宮内哲…連日の雨で梅干しが干せず、昨日、少しの晴れ間で外に出すと突然雨でびしょ濡れ。本日やっと干せました。どうか雨が降りませんように。

石川隆…お盆に20年振りに海外へ行ってきました。子供の顔を見に行ったのですが、2人とも元気だったので安心して帰って来ました。

大西宣…お盆の間は雨などで、ずーっと家に居ました。これと言ってニコニコはありませんが、残暑お見舞い申し上げます。

毛利…H班2回目の全員出席です。

卓話 (親睦活動委員会)

毛利泰治郎 会員担当)

「お札の偽造防止技術について」

内村 浩美 氏

近隣RCの例会日

8月28日(木) 新居浜RC
(リーガ新居浜)

8月28日(木) 観音寺RC
(観音寺商工会議所)

8月29日(金) 伊予三島RC
(三島商工会館4F)

9月2日(火) 観音寺東RC
(観音寺グランドホテル)

9月2日(火) 新居浜南RC
(リーガ新居浜2F)

例会プログラム

9月2日(火)

(会報委員会 担当)

出席表彰・誕生祝

ニコニコニュース

佐々木…①8/12(火)夜、細川にて『歴代会長会』を開催させて戴き、先達の